

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成28年12月15日 (2016.12.15)

【公開番号】特開2016-137367(P2016-137367A)

【公開日】平成28年8月4日 (2016.8.4)

【年通号数】公開・登録公報2016-046

【出願番号】特願2016-95729(P2016-95729)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 Z

A 6 3 F 5/04 5 1 2 C

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】平成28年10月31日 (2016.10.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技を行うことが可能な遊技機であって、
 前記遊技機の背面側に設置される複数の電気部品と、
 前記複数の電気部品を電氣的に接続する配線と、
 回路基板を収納する第 1 部材及び第 2 部材からなる基板ケースと、
 前記第 1 部材と前記第 2 部材とを封止状態とするために用いられる封印シールと、
 を備え、
 前記封印シールは、
 該封印シールの粘着力を低下させるために所定の溶剤が用いられたときに表示内容が消える溶剤変化部を有し、

封印シールを識別可能な識別情報が表示された第 1 識別情報表示部と、
 識別情報が符号化されることにより表示された第 2 識別情報表示部と、
該封印シールの強度が他の部分よりも低い脆弱部と、

をさらに有し、

前記第 1 識別情報表示部と前記第 2 識別情報表示部とは、前記所定の溶剤が用いられたときに表示内容が消えないものであり、

前記基板ケースに貼付されたときに前記配線と重ならない部分に前記溶剤変化部が配置されている

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

前記課題を解決するために、本発明の請求項 1 に記載の遊技機は、
遊技を行うことが可能な遊技機であって、
前記遊技機の背面側に設置される複数の電気部品と、
前記複数の電気部品を電氣的に接続する配線と、
回路基板を収納する第 1 部材及び第 2 部材からなる基板ケースと、
前記第 1 部材と前記第 2 部材とを封止状態とするために用いられる封印シールと、
を備え、
前記封印シールは、
該封印シールの粘着力を低下させるために所定の溶剤が用いられたときに表示内容が消える溶剤変化部を有し、
封印シールを識別可能な識別情報が表示された第 1 識別情報表示部と、
識別情報が符号化されることにより表示された第 2 識別情報表示部と、
該封印シールの強度が他の部分よりも低い脆弱部と、
をさらに有し、
前記第 1 識別情報表示部と前記第 2 識別情報表示部とは、前記所定の溶剤が用いられたときに表示内容が消えないものであり、
前記基板ケースに貼付されたときに前記配線と重ならない部分に前記溶剤変化部が配置されている
ことを特徴としている。